

各種研修会・講習会の案内と認定単位について 改訂版

案内文書等における呼称の統一化を行います。

日本病院薬剤師会<日病薬>生涯研修認定制度での研修認定を目的とする場合は、
A 鹿児島県病院薬剤師会<県病薬>生涯研修認定、あるいは同 ○○単位とする

日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度での研修認定を目的とする場合は、
B 日本薬剤師研修センター研修認定、あるいは同 ○○単位とする

<予定>日本病院薬剤師会<日病薬>の特定領域認定研修制度での研修認定を目的とする場合は、
C 日本病院薬剤師会<日病薬>特定領域認定研修、あるいは同 ○○単位とする

日本病院薬剤師会<日病薬>の専門・認定薬剤師認定講習会として単位取得する場合には、
**D 日本病院薬剤師会が認定する<○○領域>の講習会、あるいは同 ○○単位とし、
○○は、<がん><感染制御><精神科><妊婦・授乳婦><HIV 感染>とする。**
注)案内等を公開する前に担当専門委員会と事務局で打合せを行うものとする。

その他、A~D に該当しない研修会等の場合には、「日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師資格認定○○単位」のように、具体的に表記する。この場合も、公開する前に担当専門委員会と事務局で打合せを行うものとする。

ホームページ公開時点ではと認定単位を一緒に掲載します。

《認定の掲載順番》

A→B→C→D、その他とする。

《認定の単位数と時間》

認定の単位時間は、別表の通りとし、**A** の単位認定は 30 分刻みとするが、30 分に満たない場合には切り捨てとする。**B~D** は各制度の基準に従った単位とする。当日研修時間等に多少の変更があっても掲載された単位とする（別表参照）。

また、**A** については、県病薬が主催・共催ならびに後援している研修会・研究会・学会等とし、この場合の単位は開始時間から終了時間をもって研修単位とする（休憩時間・ランチョン・製薬会社説明も含むが、**D** やその他の講習会において行われる確認試験等の時間は含めない）。

A において、製薬会社主催の講演会・研究会等は従前より、「各都道府県病薬が認定した医学・薬学関連の研修会・講習会」として認定していたので、今後も引き続き認定とするが、認定単位時間数は別表に沿って行う。

これらの会合開催について、広く製薬会社へ協力を求め、会員の単位取得促進を図る。

この案に従って一部試行しているが、平成 25 年 4 月 1 日より全面的に実施するものとし、平成 24 年度以降の鹿児島県病院薬剤師会生涯研修認定においては、これに準拠して行う。

別表

A 鹿児島県病院薬剤師会生涯研修			B	C 日病薬 特定領域 認定研修単位 (参考案)	D 日病薬 専門・認定 薬剤師 認定講習会	その他 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法 認定薬剤師
研修時間 (分)	研修時間 (時間)	認定 (単位)	日本薬剤師 研修センター- 認定単位			
1～29分			0	0	60分以上	0
30～59分	0.5時間	0.25			0.50	
60～89分	1.0時間	0.50				
90～119分	1.5時間	0.75	1	1	0.75	1
120～149分	2.0時間	1.00			1.00	
150～179分	2.5時間	1.25			1.25	
180～209分	3.0時間	1.50	2	2	1.50	2
210～239分	3.5時間	1.75			1.75	
240～269分	4.0時間	2.00			2.00	
270～299分	4.5時間	2.25	3	3	2.25	
300～329分	5.0時間	2.5			2.5	
330～359分	5.5時間	2.75			2.75	
360～389分	6.0時間	3.00	4 最大： 1日4単位		3.00	4
390～419分	6.5時間	3.25			3.25	
420～449分	7.0時間	3.50			3.50	
450～479分	7.5時間	3.75			3.75	
480分	8.0時間	4.00		4.00		
学会の扱い 最大1日4単位 講師/演者+1単位			学会 2日間:6単位 3日間:9単位	領域項目毎に 必要単位 学会扱い未定	平成25年 4月1日より改訂	他詳細条件あり

A 鹿児島県病院薬剤師会<県病薬>生涯研修認定、あるいは同 ○○単位とする

B 日本薬剤師研修センター研修認定、あるいは同 ○○単位とする

C 日本病院薬剤師会<日病薬>特定領域認定研修、あるいは同 ○○単位とする

D 日本病院薬剤師会が認定する<○○領域>の講習会、あるいは同 ○○単位とし、
○○は、<がん><感染制御><精神科><妊婦・授乳婦><HIV 感染>とする。